

小論文の書き方④ く種類別小論文対策く

「小論文」と言っても、出題の形式はさまざまです。ここでは、小論文を出題形式別に分けて、それぞれの書き方のポイントを学習しましょう。



小論文には大きく分けて3つの種類があります。

課題文型……課題文の文章を読んで、自分の意見を書く形。

図表型……グラフや図を見て、自分の意見を書く形。

作文型……「○○について、あなたの意見を書きなさい」という形。



大学受験で小論文を使う人は、**自分の受ける大学がどういう形で出題しているか**、過去問を見て確認しましょう。

1



課題文型

課題文型とは、**まず問題の文章を読んで、それをもとに小論文を書く形**です。

「次の文章を読んであなたの意見を書きなさい。」

「次の文章を読んで○○について論じなさい。」
といった形で出題されます。

ポイントは **課題文の要約**！

課題文型の小論文では、

問・本文を○○文字以内で要約しなさい。

という形で、本文の要約をさせることも多いです。

「要約しなさい」という問題がない場合も、**自分の意見の前にまず要約を書きます。**



課題文型の場合は、問になっていなくても、**まず課題文の要約をする！**
 要約のやり方はまた別の教材で解説します。



課題文型の小論文の構成

- ① 課題文の要約 ↓ 自分の主張
- ② 主張を証明する理由
- ③ 反論・反対意見への対策
- ④ 結論



図表型

図表型とは、**まずグラフや表を見て、それをもとに小論文を書く形です。**

「次のグラフを見て、○○についてあなたの意見を書きなさい。」

「次の表とグラフを見て、○○について論じなさい。」
 といった形で出題されます。

ポイントは **データの読み取り！**

課題文型の要約と同じように、**まず表やグラフから読み取ることが出来る情報について簡単にまとめます。**

その情報をもとに、自分の意見を書いていきます。



グラフや図が何について、どんな情報をあらわしているかに注目！

グラフや図が複数ある場合は、**何か関係があるはずなので、それぞれの情報がどう関連しているか、**ということも考えましょう！



図表文型の小論文の構成

- ① **データの整理** ↓ 自分の主張
- ② 主張を証明する理由
- ③ 反論・反対意見への対策
- ④ 結論



作文型

作文型とは、課題文や図表がなく、問題文だけが示される形です。

「○○についてあなたの意見を述べなさい」
「○○についてあなたの考えを述べなさい」
といった形で出題されます。

課題文がないので、要約は必要ないですね。

図表がないので、データの読み取りも必要ありません。

では、どうやって書けばよいでしょうか？

ポイントは **問題提起** ！

※**問題提起**とは、「○○は△△だろうか。」といった形で、自分で質問をたてることです。

例えば「児童虐待についてあなたの意見を述べなさい。」という問題だったとしたら、

児童虐待はどのようにすれば減らすことができるだろうか。

と、自分で質問を作ってみます。そして、それに答えます。

専門家の育成と近所付き合いが必要である。

自分で質問をたてて、それに答える。この**答えの部分**が**自分の主張**部分になります。

あとは課題文型や図表型と同じように、自分の主張を証明するデータ、反論・反対意見への対策、結論、の順で書いていきます。



作文文型の小論文の構成

- ① **問題提起** ↓ 答え⇨自分の主張
- ② 主張を証明する理由
- ③ 反論・反対意見への対策
- ④ 結論



課題文型・図表型・作文型、3つとも**基本的な書き方は同じ**です。

ただし、それぞれポイントが違うので、自分が受ける大学の過去問題などを見て出題形式を確認しましょう。